

8/5
(水)

障がいと共生できる社会に 手話奉仕員養成講座開講

保原町産業振興会館

course

手話の普及と手話の使いやすい環境づくりを整えるため、手話奉仕員養成講座を開講しました。今年度は11人が参加。来年3月まで入門編18講座、基礎編22講座を行います。この講座では、手話のできる市民と手話奉仕員の養成を図り、障がいと共生できる社会の実現を目指します。平成



27年より始まり、これまでに81人が受講を修了。今年度は27人が伊達市手話奉仕員に登録しました。

8/9
(日)

伊達の桃を収穫から味わう 道の駅近くの農園で収穫体験

霊山町下小国

event

伊達の果物を多くの人に楽しんでもらおうと、株式会社りょうぜん結と道の駅伊達の郷りょうぜんが協同で企画したものです。今年度は人数制限などの対策の中、8月2日、9日、16日の3日間に分けて行われ、市内外の家族が参加しました。



参加者たちは、霊山町下小国の森藤いつ子さんの桃畑で「あかつき」の収穫を体験しました。子どもたちは大きな桃を見つけると、楽しそうに桃を収穫していました。

7/31
(金)

各地域で備える 感染症対応型避難所設置訓練

保原中央交流館 ほか

training

毎年実施している伊達市防災訓練が新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施困難であるため、個別訓練として、5地域に分かれて新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所の設置、運営訓練を行いました。感染症に対応した避難所として、受付で検温や健康状態を確認するなど、初動期や避難所が長期化した場合の対応を学びました。



訓練には、市民の皆さん160人のほか、市職員らが参加しました。

訓練には、市民の皆さん160人のほか、市職員らが参加しました。

8/1
(土)

県内初！ 紙おむつの自動販売機を設置

道の駅伊達の郷りょうぜん

installation

子育て応援の一環として、いつでもおむつを衛生的に購入できるように、県内で初めて紙おむつの自動販売機が設置されました。これまで夜間の対応ができませんでしたが、今後は365日、24時間、購入できるようになりました。道の駅の酒井支配人は「子育て世帯を応援していきたいです。」と話しました。



早速利用した長南彩乃さんは「急に紙おむつが必要になってしまったので助かりました。」と笑顔で答えました。

